



令和8年3月11日

令和7年度学校評価について

啓蟄の候、保護者の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施いたしました学校評価につきまして、集計が終わりましたので、御報告いたします。皆様からいただきました御意見につきましては全て、管理職及び学校評価委員会（学校関係者評価を行う組織。本校では学校運営協議会に委任。）にて拝読いたしました。内容について共通理解をしながら、次年度の教育活動に生かせる点については、反映していきたいと思っております。残念ながら全ての御意見を反映することはできかねますので御理解をお願いします。

結びになりますが、今年度も本校の教育活動へ御理解と御協力をいただいておりますことにお礼を申し上げますとともに、今後とも御支援賜りますようよろしくお願いいたします。

1 保護者アンケート結果

	A	B	C	D	A+B	6年度A+B	前年度比
1 学校は教育目標「考える子」の育成に努めている	27.9	63	9.1	0	90.9	93.8	-2.9
2 学校は学校教育目標「やさしい子」の育成に努めている。	30.2	63	6.6	0	93.2	93.8	-0.6
3 学校は「じょうぶな子」の育成に努めている	25.9	60.7	12.8	0.6	86.6	92.1	-5.5
4 学校は子供の実態に応じて、きめ細かな学習指導を行っている。	21.4	60.7	16.2	1.7	82.1	85.1	-3
5 学校は豊かな心を育てる体験活動を行っている。	30.8	59.5	9.4	0	90.3	91.5	-1.2
6 学校は健康・安全に留意した活動を行っている。	39.3	55.8	3.4	1.4	95.1	95.3	-0.2
7 学校は施設・設備面での環境整備を行っている。	29.3	60.4	9.4	0.9	89.7	88.9	0.8
8 学校は保護者の意見に耳を傾けており、保護者にとって相談しやすい。	31.6	56.7	10	1.7	88.3	86	2.3
9 学校は保護者や地域の方に対して、情報提供を適切に行っている。	36.2	55.8	7.4	0.6	92	85.7	6.3
10 学校は一人一人を大切にされた指導を行っている。	27.4	56.4	15.1	1.1	83.8	84.6	-0.8
11 子供は楽しく学校生活を過ごしている。	51.3	41.6	6	1.1	92.9	94.9	-2
12 子供は友達を思いやる気持ちが育っている。	41.3	54.7	4	0	96	96.3	-0.3
13 子供は基本的な生活習慣が身についている。	39	55	5.4	0.6	94	92.9	1.1
14 子供は自ら進んで学び、考えようとしている。	21.7	57.3	18.8	2.3	79	78.2	0.8
15 子供は基礎学力が身に付いている。	23.9	61.5	13.4	1.1	85.4	82.4	3
16 子供は友達付き合いが広がっている。	46.7	43.6	8.5	1.1	90.3	89.2	1.1
17 子供は進んで人のために働くことができる。	28.8	57	14.2	0	85.8	85.1	0.7

18	子供は学校の行事に進んで参加している。	51.9	41	6.6	0.6	92.9	92.3	0.6
19	子供は進んで挨拶ができる。	23.4	53.3	22.8	0.6	76.7	81.2	-4.5
20	子供は進んで運動し、体力が高まっている。	29.9	45.6	23.1	1.4	75.5	75.1	0.4
21	学校はアンケート調査をするなど、いじめの早期発見に努めている。	27.6	60.1	10.8	1.4	87.7	84.3	3.4
22	学校はスクールカウンセラーに相談しやすい体制を整えている。	31.1	60.1	8	0.9	91.2	87.2	4
23	学校は、保護者・地域と連携して子供を育てようとしている。	28.8	59.8	10.5	0.9	88.6	83.6	5
24	保護者・地域による見守り活動は充実している。	22.8	56.1	18.8	2.3	78.9	80	-1.1
25	お子さんは、「英語科」の授業に意欲的に参加している。(1・2年生のみ)	38.7	44.8	15.3	1.2	83.5	87.7	-4.2

2 保護者アンケート結果に関する考察

A評価とB評価を合わせたものを肯定的回答として、その割合について前年度比で変動の大きかった項目について考察する。

まず、6.3ポイント上昇したのが、項目9「学校は保護者や地域の方に対して、情報提供を適切に行っている。」である。こちらについては、昨年度より学校ホームページの充実を図っており、それが保護者様へとしっかりと伝わっているのではないだろうか。アンケートの記述欄に於いても、何名かの方がホームページの充実について触れていた。また、今年度からの取組として、学校だよりも前月の学校・学年行事の写真を掲載するようにしている。項目22の「学校はスクールカウンセラーに相談しやすい体制を整えている。」についても4ポイントの上昇となった。こちらは、一昨年度から昨年度にかけて大きく評価の下がった項目であった。今年度、毎月の学校だよりもスクールカウンセラーの来校日を掲載するようにすると共に、学校だより7月号では相談室の様子を画像でお知らせした。このような取組が評価の改善へとつながったのではないだろうか。

次に、大きくマイナスとなった項目について述べていく。

まず、最もマイナス幅が大きかったのは、項目3の「学校は「じょうぶな子」の育成に努めている」についてで、マイナス5.5ポイントとなった。こちらは、記述欄からも読み取れたが、昨年度いっばいでマラソン大会を実施しなくなったことが影響しているように思える。昨年度も触れたが、マラソン納会(大会)またはそれに準じた内容については、学習指導要領に記載がなく、長らく慣習として多くの学校で行われてきていたが、本来、学校教育の中で位置づけが難しい存在となっている。コロナ禍をきっかけに廃止に移行した学校も全国的に多いと聞く。その分、正課時体育(通常の体育学習)を充実させたり業間休みと昼休みの人数制限をなくしたりと、体力向上に努めているところではあるが、保護者様には見えづらい部分なのかもしれない。次にマイナス幅が大きかったのは、項目19の「子供は進んで挨拶ができる。」で、マイナス4.5ポイントとなっている。こちらの項目は同内容を教職員と児童にもアンケートを採っている。教職員は保護者同様に子供た

ちに対して「挨拶ができていない」と評価をしていた。一方、子供たちは「自分たちは挨拶ができています」と評価した割合が90%を超えた。大人側の評価と子供側の評価の乖離は大きいですが、言うまでも無く挨拶は社会生活の基本である。どのような挨拶が良い挨拶なのかなど、保護者・教職員が手本を見せていくことで、子供たちの挨拶に対する意識を向上させる必要がある。また、1, 2年生の保護者様のみの回答ではあるが、項目25の「お子さんは、「英語科」の授業に意欲的に参加している。」がマイナス4.2ポイントとなっている。本校では、他校にはない特色として、英語の学習についてALT (Assistant Language Teacher) に加え、担任とALTの間に入って授業づくりをコーディネートする職員を配置して英語学習の充実を図っているところである。低学年の英語については、船橋市が文部科学省より教育課程特例の指定を受けて実施しているものであり、船橋市では、この目標を「英語学習への興味・関心を持とうとする。」としている。しかしながら、2割弱が「意欲的に参加していない」となると本来の意義が問われてくることとなる。1, 2年生の英語教育については船橋市の独自教材「Funabashi English Curriculum」の内容を踏まえての学習となっているが、学校としては、研修を通して、英語の指導方法の工夫改善に努めていく。

継続してほしいことの御意見を拝読してまず感じることは、学校（担任）に対して、温かい目で見守ってくださる保護者様が多いことだ。励ましの言葉を読んでいると、本当にありがたく感じ、更なる教育活動の充実への意欲付けとなった。

改善してほしいことについては、真摯に受け止めたい。特に子供たちへの指導の仕方については、しっかりと把握して改善するべきは改善していく必要があるだろう。また、賛否が分かれる内容が多かったことも特徴として挙げられる。例えばお便りのメール配信やタブレットの活用に関しては、継続してほしいことと改善してほしいことの両方に記載があったり、改善してほしいことの中でも相反する意見があったりした（例：タブレットをもっと活用してほしい⇔タブレットの使用を制限するべきである）。その他様々な要望があったが、全ての要望を実現することは難しい。本来の学校業務である部分をまず充実させることを第一に考えていきたい。また、県や市の教育施策を踏まえて教育活動を行い、保護者様の要望と相反する面が生じる際は、その根拠の部分をしっかりとして提示して理解を求めていく必要があると考える。

その他、学校で改善できることについては、積極的に改善を行っていきたい。

3 学校評価委員会による学校関係者評価

※本校の学校評価委員会は学校運営協議会に委任しております。年3回の学校運営協議会の中で、学校側からの学校経営に関する説明を聞いていただいたり、子供たちの活動の様子を見ていただいたりしました。その内容と皆様からのアンケート結果（記述の御意見も含み、全てを見ていただいております。）から、令和7年度の本校の取組についての評価をいただきました。

25項目中90%以上が11件で44%。昨年度より割合が上がっており、数値的には結構である。

<p>安心・安全・体力にウェイトを置く必要がある。</p>
<p>スクールガードは85歳から90歳の人も多い。中には「やめさせてくれ」という人もいる。交通事故は、子供や老人の被害が多く、スクールガードは重要である。若い人にも積極的に参加してほしい。子供たちの祖父母である世代にPRをお願いしたい。</p>
<p>スマートフォンの普及などで、子供たちの視力の低下が心配。自然の中での活動も大切なのではないか。</p>
<p>行事（授業参観等）への興味のある親が多い。積極的に公開できれば良い。</p>
<p>アンケートでA評価のものは、子供を見て実感できる項目なのだろう。評価が低いものは保護者が実感できていないものだと思うので、しっかりと発信・アナウンスしてアピールしていくべきである。</p>
<p>記述欄に書いてあることは、全職員で共有して、全体で統一していくと良い。一人で抱え込むとストレスとなる。全職員で共有することにより、ストレス軽減へとつながるのではないか。</p>
<p>児童数が増えている中で、良くなった部分があるのは学校の努力の賜物である。感謝している。</p>
<p>情報提供が上手なのであろう。ホームページの充実が見られる。</p>
<p>マラソン大会は、運動会の短距離走など瞬間的に見られるものでなく、じっくりと見られることもあり、保護者としては廃止はショックだったのだろう。</p>
<p>児童の人数が増えている中で、やるべきことはやれている。校長を始めとして教職員が、保護者・子供に丁寧な対応をしていると思う。</p>
<p>アンケートの結果を見ると、肯定的評価が80%～95%の範囲に入っているので、しっかりと学校運営をしていると思う。</p>
<p>記述欄に「図書室で希望する本が借りられない」とあった。公民館にも図書室があり、そちらでも貸出ができるので、ぜひ活用してほしい。</p>
<p>健康・安全面など、大変で重要なところを頑張っている。</p>
<p>公民館は、地域や学校と連携していく必要がある。子供の集いや文化祭（法典地区自治会連合会主催）への協力をお願いしたい。クラスやグループなどでの参加も可能である。</p>